



第4回地域・まちづくり委員会を開催しました！

12月19日の第4回地域・まちづくり委員会では、『NPO法人ハイティーンズサポートちば』の理事長 吉永馨さんに『校内居場所カフェの役割と、高校生支援について』についてお話をお聞きしました。「ハイティーンズサポートちば」は、2020年6月に高校の教職員が中心とり設立され、活動について以下のようなご説明をいただきました。

- 1.若者支援活動を通して福祉と教育をつなぐ
- 2.若者支援にあたる地域のネットワークをつくる
- 3.高校に“校内居場所カフェ”を開設し運営の中心を担う
- 4.千葉県、千葉市と連携し、県・市の貧困対策事業に参画するという4つのミッションを遂行することを目的としています。



校内居場所カフェの運営では生徒との信頼関係を築くことで福祉につなげることができます。さらに活動するためにはフードバンク、生協、企業、地域などの理解・協力が必要となります。

また、校内居場所カフェ事業では、高校生や高校中退者などの10代の若者への食糧支援、相談事業、就労支援などをおこないます。この年代の若者は自分や家庭の問題などを一人で抱え「SOS」を出しにくい状況が多くあり、さらに高校を中退してしまうと支援から取り残されてしまいます。「校内居場所カフェ」は学校内で若者と信頼関係を築き、支援に繋げていきます。現在「ハイティーンズサポートちば」の「校内居場所カフェ」では大学生や地域住民と一緒に食糧の配布を中心に、運営しています。季節の行事などの企画もおこない、親しみやすく入りやすい環境づくりを意識しています。

3年が経ち事業の必要性が認められ、千葉県からは県内の5高校への「校内居場所カフェ」支援ができました。また、直接校内居場所カフェを作りたいという問い合わせも来るようになりました。しかしながら、支援ができる高校は数校にとどまり、また団体の認知度も低く、活動資金の確保も課題があります。今後は、食糧支援のできる高校を増やし、相談業務などの充実、就労支援なども行政や関係団体と連携しながら行っていきたいと考えています などと話されました。

参加者からは、「高校の中に入って高校生のために居場所を作る活動は、知らなかった」「10代後半は、大人でもありまた誰かに頼りたいという不安定な時期でもあるため、いろいろな人が見守り、支えていくことはとても大事な活動だと思いました。」「お話にもあったように活動資金がどうなっているのか気になります」などの感想がありました。